



令和4年10月21日

第75回「都民の消防官」表彰について

「都民の消防官」表彰は、産経新聞社の主催により消防の第一線で活躍している職員を対象に、都民の生命、身体、財産を火災等から守るため、長年にわたり職務に精励し、その功労が特に顕著な消防官を選出し、「都民の信頼と感謝を集める人」として広く都民に紹介するため昭和30年に制定されたもので、これまで346人が受章しています。

1 受章者（詳細は別紙のとおり）

(1) 消防活動功労

福生消防署 消防司令補 さだ しげゆき 定 茂幸

(2) 救急活動功労

向島消防署 消防司令補 すずき やすし 鈴木 靖

(3) 予防業務功労

丸の内消防署 消防司令補 いべ ひろし 井辺 博

(4) 機関運用功労

向島消防署 消防士長 まつなわ みのる 松縄 実

(5) 舟艇業務功労

臨港消防署 消防司令補 ないとう のぶゆき 内藤 伸幸

2 表彰式

(1) 日 時

令和4年10月28日（金） 10時20分から（予定）

(2) 場 所

千代田区大手町一丁目7番2号

東京サンケイビル内 大手町サンケイプラザ 3階会議室

(3) 主催：産経新聞社

後援：フジサンケイグループ

協賛：三菱地所株式会社、東京ガス株式会社、株式会社サンケイビル

富国生命保険相互会社、一般財団法人東京都消防懇話会

公益財団法人東京連合防火協会、公益財団法人東京防災救急協会

3 その他

(1) 取材を希望する社は、問合せ先へ事前にご連絡ください。

(2) 駐車場はありませんので、あらかじめご了承ください。

(3) マスク着用及び手指消毒などの感染防止対策にご協力をお願いします。

問合せ先

〔東京消防庁 電話 3212-2111〕
〔広報課報道係 2345～2349〕

【消防活動功労】

福生消防署 消防司令補 定 茂幸（さだ しげゆき）

昭和58年4月入庁以来、一貫して消防活動一筋に弛まぬ努力と研鑽を重ね、これまで培った経験と知識、持ち前の旺盛な職務意欲により手腕を発揮し、昼夜を分かたず都民のために尽力している。

性格は、明朗快活にして協調性豊かであり、リーダーシップに富み、上司・同僚の信望は極めて厚く、部下からも全幅の信頼を寄せられている人格者である。



【救急活動功労】

向島消防署 消防司令補 鈴木 靖（すずき やすし）

昭和56年4月入庁以来、長きに渡り救急業務に従事し、「都民にとって人生の中で初めての救急要請である」という気持ちを常に持ち、救急活動の最前線で活動している。

性格は温和かつ誠実であり、多くの部下職員からも慕われている。部下職員へは知識や技術の指導だけでなく、都民への接遇、消防のプロとしての自覚を芽生えさせるなど心の面の育成にも力を入れている。



【予防業務功労】

丸の内消防署 消防司令補 井辺 博（いべ ひろし）

昭和63年8月の入庁以来、予防業務に関する講習や研修等を積極的に受講し、知識、技術の研鑽に努め、予防係や査察係等で多くの実績を挙げている。

温厚で責任感が強く、仲間との調和を大切に、組織目標を達成する姿や、部下の育成に励みながら実直に業務を遂行し大きな成果を上げており、全署員から厚い信頼が寄せられている人物である。



【機関運用功労】

向島消防署 消防士長 松縄 実（まつなわ みのる）

昭和56年11月に入庁し、機関員として30年以上の長きにわたり職務に従事している。災害時は、冷静沈着な判断で出場経路を選定し、身に付けた高い技術力と経験を生かして適正かつ確実に任務を遂行している。

性格は真面目かつ温厚であり責任感が強く、上司や同僚からの信頼は極めて厚く、部下からは絶大な信頼を得ている職員である。



【舟艇業務功労】

臨港消防署 消防司令補 内藤 伸幸（ないとう のぶゆき）

昭和61年4月に入庁以来、数多くの水上災害現場に出場し成果を上げてきた実績を買われ、平成31年3月には、我が国初のタグボート型大型消防救助艇「おおえど」の初代船長に任命されている。

性格は質実剛健にして機知に富み、卓越した指導力と時代の趨勢に即した職務執行能力を有している。また、その高い識見と包容力に富む人柄は上司、部下は勿論、広く都民からも信望を集めている。

